



## ■ 0 ■ 事前準備

このマニュアルは、FC AV AMPLIFIERと組み合わせた WDC-HVC2 PPUモジュールキットの組み込み方について説明しています。FC AV AMPLIFIERの組み込みについては、別途FC AV AMPLIFIER 組み込みマニュアルを参照ください。

本改造を行うことで、RFユニットへの映像信号の送信が出来なくなります。RFユニットをご使用になる可能性がある場合は、本改造を行うことが出来ません。

### 【必要な工具類】

|   |              |
|---|--------------|
| + | ドライバー        |
|   | ハンダ          |
|   | ハンダゴテ        |
|   | ラジオペンチ       |
|   | ニッパー         |
|   | 導通テスター       |
|   | カッターナイフ      |
|   | ビニールテープ(絶縁用) |

### 【あると便利な工具類】

|  |           |
|--|-----------|
|  | ホビー用のクランプ |
|  | ワイヤストリッパー |
|  |           |
|  |           |
|  |           |
|  |           |
|  |           |



## ■ 1 ■ パッケージ内容の確認

パッケージに同梱されているパーツを、下記のパーツリストを参考にして確認します。

下記のパーツリストは、組み立てを行う際にも使用します。

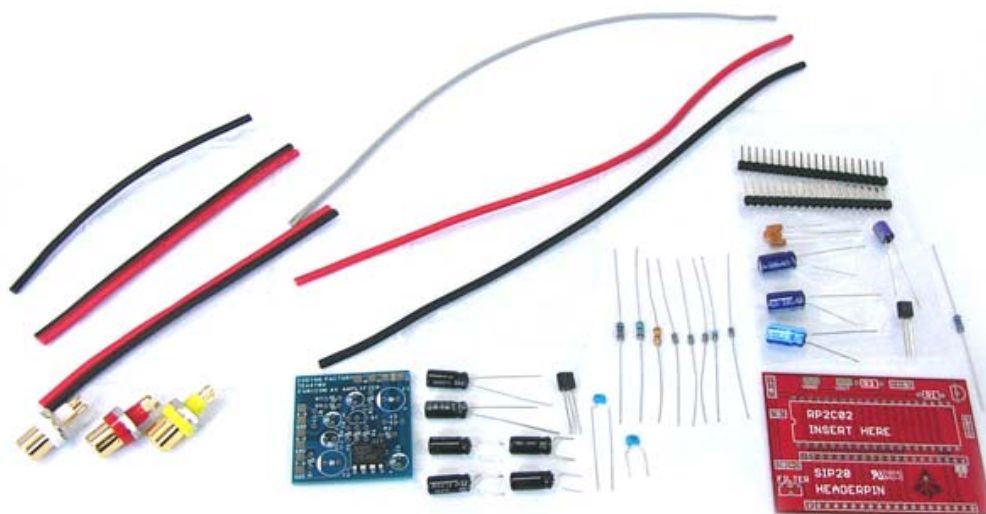
あわせてFC AV AMPLIFIER 組み込みマニュアルの「■ 1 ■」の項目をご参照ください。

### 【 WDC-HVC2 PPUモジュールキット パーツリスト】

| 記号     | コード                 | パーツ                                |
|--------|---------------------|------------------------------------|
| ---    |                     | 基板 WDC-HVC2 PPUモジュールキット            |
| R1     | 赤黒[茶/黒黒] / 赤赤[茶/黒黒] | カーボン抵抗[茶] 200Ω または 金属皮膜抵抗[青] 220Ω  |
| R3     |                     | ショート (R1のリードの余り部分を使用します。)          |
| C2     |                     | OS-CON 15μF                        |
| C5     |                     | 電解コンデンサ 220μF または 330μF            |
| C8     |                     | 電解コンデンサ 100μF                      |
| ---    |                     | 電解コンデンサ 330μF                      |
| Q1     | A1015               | トランジスタ 2SA1015                     |
| ---    |                     | ヘッダピン 20pin x 2                    |
| FILTER | 103 / 47            | フィルタコンデンサ 0.01μF / 47pF            |
| ---    | 黄紫[茶/黒黒]            | カーボン抵抗[茶] 470Ω FC AV AMPLIFIERのR3用 |

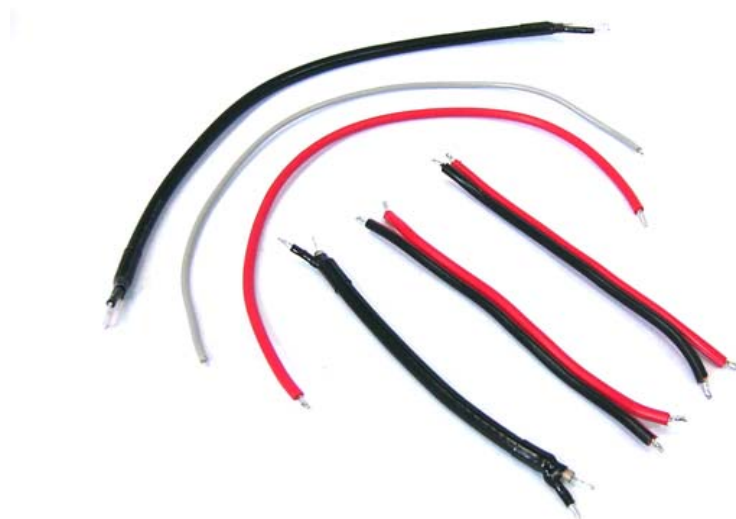
注意) カラーコードが5本ラインの抵抗の場合は、3本目のカラーコードを下記に置き換えてご覧下さい。

- ・黒 → 黒金
- ・茶 → 黒黒
- ・赤 → 黒茶
- ・橙 → 黒赤



## ■ 2 ■ 線材の加工

線材先端の被覆を剥がし芯線を撚ります。さらに、撚った芯線をハンダします。  
75Ωの同軸ケーブルのGND側を、熱収縮チューブなどで絶縁しておく会更好です。  
写真の様に6本とも加工します。



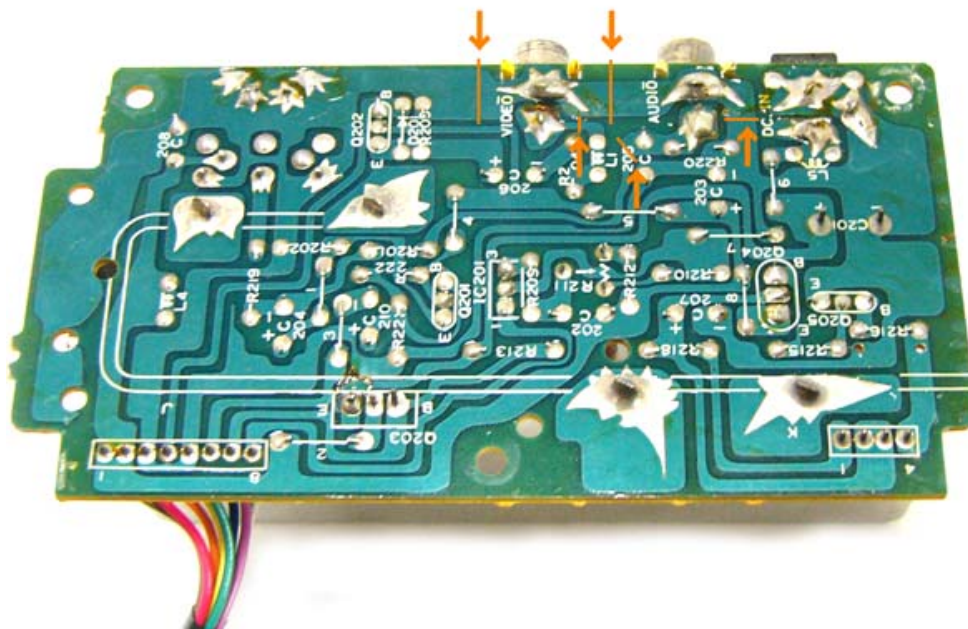
## ■ 3 ■ 本体の分解

本体裏の7本のネジを外すと、かんたんに上蓋が開きます。その後、メイン基板(+電源ユニット)を留めているネジを外します。これで安全にメイン基板と電源基板を分離することが出来ます。

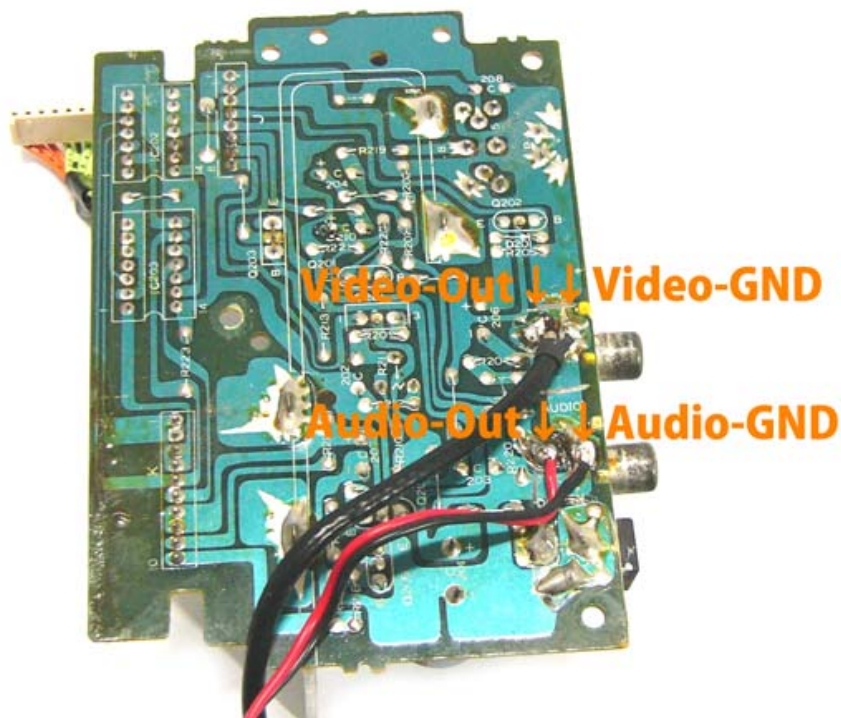
■ 4 ■ 電源ユニット基板のパターンカット

電源ユニットのRCAジャックを流用する為に、基板パターンのカットを行います。  
写真の矢印の5箇所をテスターで確認しながら確実にカットしてください。

【パターンカット部位】



パターンカットした後に、下記のように短い方の線材をはんだ付けします。



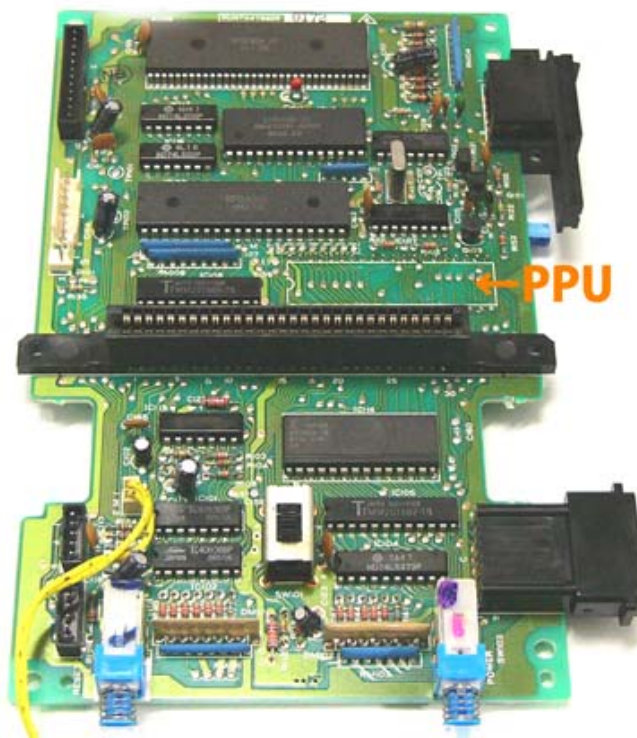
■ 5 ■ FC AV AMPLIFIERの組み立て

FC AV AMPLIFIERのR3の抵抗は、PPUモジュールキットに付属の470Ωをご使用下さい。  
FC AV AMPLIFIER 組み込みマニュアルの「■ 1 ■」と「■ 5 ■」の項目をご参照ください。



■ 6 ■ PPU (RP2C02x) の取り外し

ハンダ吸取り機などを使用して、メイン基板から写真の位置のPPU (RP2C02x) を、傷つけないように注意しながら取り外します。あまり加熱しすぎるとPPUが壊れます。また、GNDに接続されている足のハンダが取れにくく、下手に力で剥がそうとするとICの足が折れるので注意してください。  
PPUのロットが「RP2C02E」または「RP2C02G」のみで動作確認を行っております。それ以外のロットに関しましては動作保証はありません。

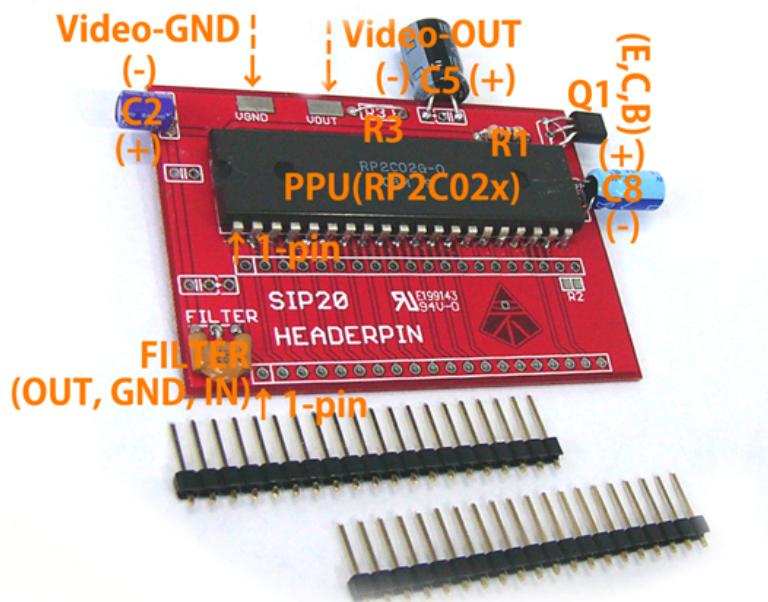




■ 7 ■ WDC-HVC2 PPUモジュールの組み立て

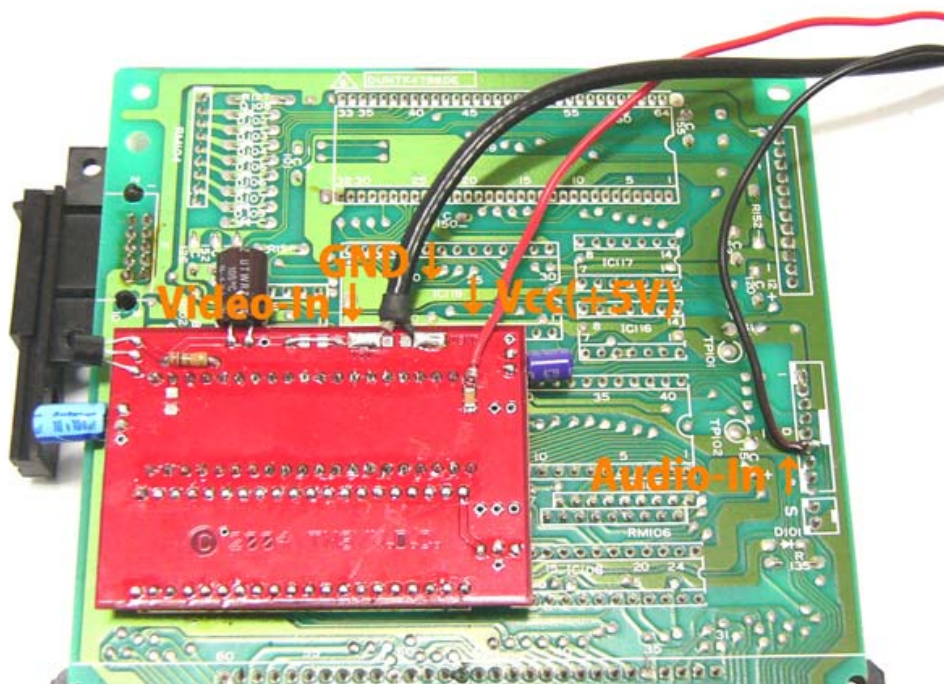
写真を参考にして、WDC-HVC2 PPUモジュールキットを組み立ててください。取り外したPPU (RP2C02x) をモジュールにハンダ付けします。

【WDC-HVC2 PPUモジュールキット 配線図】



■ 8 ■ WDC-HVC2 PPUモジュールの組み込み

PPUを取り外したメイン基板のピン穴にヘッダピンを出来る限り浅く挿入し、はんだ付けします。組み立てたPPU基板を写真のようにはんだ付けします。長い線材を矢印の位置にはんだ付けします。

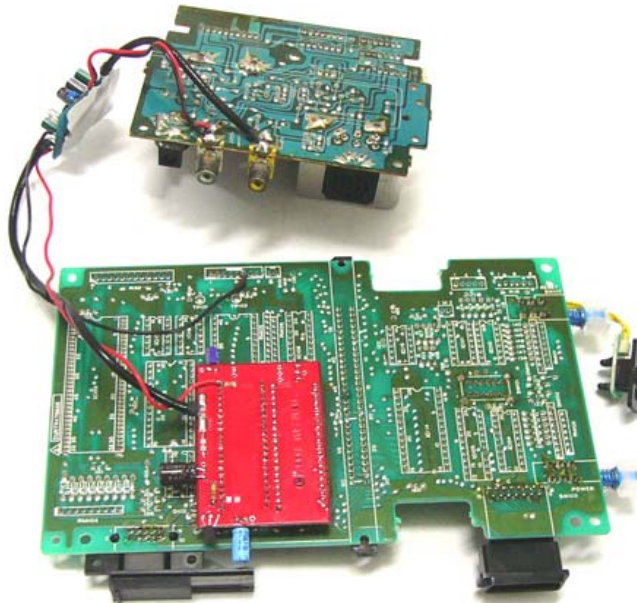




■ 9 ■ FC AV AMPLIFIERの組み込み

下記のように線材をハンダ付けします。  
またFC AV AMPLIFIERの基板の裏に、ビニールテープを貼り絶縁します。

- ・「VCC」に、WDC-HVC2基板のVCCから電源用線材を接続。
- ・「GND」に、WDC-HVC2基板のVGNDから75Ω同軸線材のGND側を接続。
- ・「V-I」に、WDC-HVC2基板のVOUTから75Ω同軸線材の芯線を接続。
- ・「A-I」に、メイン基板のソケット46pinからオーディオ用線材を接続。
- ・「A-O」と「GND」を、音声信号用のRCAジャックにオーディオ用線材で接続。
- ・「V-O」と「GND」を、映像信号用のRCAジャックに75Ω同軸線材で接続。



矢印の位置にケーブルを通し、写真の位置に組み込みます。







## ■ 1 0 ■ 動作チェック

仮組みをして、動作チェックを行います。

仮組みの前に、ハンダ付け部分がショートしていたり、外れていたりしないかどうか十分にテスターでチェックしてください。



## ■ 1 1 ■ 本体の組み立て

動作確認出来ましたら、ネジ留めし、本体を組み立てて完成です。

